

日本原子力学会 原子力安全部会

福島第一原子力発電所事故
に関するセミナーシリーズ
第5回

2012年8月20日

(於)東京、東京大学工学部11号館

セミナーの趣旨

- 福島事故に関し、「何が悪かったか、今後何をすべきか」について議論する。原子力学会はわが国のアカデミアを構成する組織であることを踏まえ、学会としてあるいは原子力安全全部会として何をすべきかの観点を重視する。
- 原子力は多くの技術の総合であり、福島事故を含め、事故は技術分野の隙間で起きることが多い。セミナーの目的は、事故そのものの解説ではなく、事故によって示された課題を踏まえて今後より安全な原子力を確立していくために、技術分野間あるいは産官学間の相互理解を進めることを目的とする。

本日のプログラム

司会： 関村直人(原子力安全部会副部長、東京大学)
(開会挨拶及び趣旨説明)

13:35～13:40 「第4回セミナーの概要」

梅澤(原子力安全部会幹事、三菱重工業(株))

13:40～14:10 「東京電力における事故時のモニタリング活動
について」 實重(東京電力(株))

14:10～14:50 「初動時の現地対策本部の活動のあり方について」
齊藤(JNES)

14:50～15:10 休憩 及び 報告内容に関する質問

15:10～15:50 「緊急事態への準備と対応の課題について」

本間(原子力安全部会幹事、日本原子力研究開発機構)

15:50～16:40 討論等

16:40 次回以降のセミナー案内及び閉会挨拶